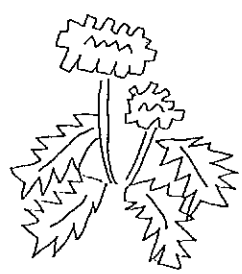


たんほほ

NO 96
 H7年6月1日
 -発行-
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



投稿

理事長 田中 稔

今はこのチャンネルを廻してもオウム、オウムです。視聴率さえ良ければ、村山さんが辞めようが政局がどうなるうが関係ないということでしょうか。もっと大事なことはないのでしょうか。

先日、突然テレビのニュースの画面から自閉症の文字が目飛び込んで来ました。またかと思いましたが、それというのも、その前に関口さんのワイドニュース番組の報道の中で、自閉症という言葉が間違った意味に使い、訂正して陳謝するという事があったばかりでした。

最近の自閉症という言葉のマスコミの中での誤った使い方には目に余るものがあります。

今度のもは、熊本の民放による地方ニュースの中でのもので、「自閉症にイルカウォッチング」

というタイトルでした。内容は、ある施設入所中の自閉症の人が、牛深沖の船からのイルカウォッチングに参加して、自然の暖かさに触れて心を開いたというものでした。

この報道をしたデレクターをはじめ関係者は自閉症という障害が全く分かっていません。イルカを見て、自閉症が治るのであれば親はこれほど苦しみはしません。

熊本日新聞に「読者のひろば」という欄があります。私は時々これに投稿します。家内はみっともないからやめると言います。

今回も先のニュースの事を書きました。マスコミは自分たちが批判される記事は好みません。はたして採用されるかどうか興味深々です。

熊本で自閉症の診断がされるようになって25年以上になります。自閉症が理解されるにはまだまだ

道遠しの感が強くします。

親も又、自閉症という言葉にこだわりません。『自閉症ではありません。』

『広汎性脳障害です。』診断する側も親に恨まれないように自閉症という言葉、診断を避けています。

子供達の現実だけが誰からも理解されずに避けて、放置されることになっていきます。



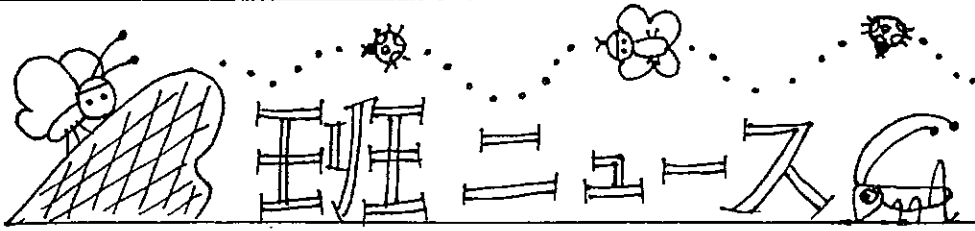
のん気・こん気・げん気

○三気の里が開設して8周年を迎えた、今年の開園祭には、交流ホーム・体育館の披露も行われる。8年前は、建物といったら50名が生活する建物だけだった。それが今では、各班の作業棟や倉庫も整備されるなど自由無く作業に取り組む事が出来るようになった。晴耕雨読を地で過ごしていた、そんな昔を知る人も少なくなった。

○作業が充実してくると、反比例するように自然に触れる機会が減ったと思うのは、私の感傷だろうか。しかし、作業棟の窓から望む風景は、馥郁(ふくいく)とした自然に恵まれ、その景観は誇りにすら思える。

○窓の下にふきのとうを見つけただのは、まだ春浅き頃だっただろうか、寒さに出無精が災いして、食する機を失ってしまった。春の息吹きは、山野に蕨やぜんまい、落(ふき)へと姿が変わり、今また三気の里の周りには、木苺があらこちらに顔を見せている。春の息吹きの恩恵を上手に受けている。我が仲間と味わってみませんか。





1 班 - 伸びる 伸びる

白いTシャツが恋しくなり、麦藁帽子の作る僅かな陰が嬉しくなると、もうすぐ夏だなあと感じる。天気の良い午後、ブルーのツナギ服に軍手、軍足、麦藁帽子で身を固め、コンテナを持って畑へと足を運ぶ。気候が良くなると作物の成長が早くなるが、代わりに草の伸びる勢いもそれに負けじと早くなる。そして、私達と草との戦いが始まる。

1班の畑作業は週1回、渋々ツナギ服に着替える人もいる。しかし、「さあ始めよう」の声と同時に、皆の手が一齐に動き始める。勝ちゃん、俊ちゃん、建ちゃん、亮君は、まだ小さな瓜の植えてある畑。草の勢いが良いので取っても取ってもなくなる程。しかし、めげずに取り続ける。えいちゃん、英君は空豆の畑の両端。空豆を取ってしまったことも、教えてあげると取らなくなった。憲ちゃん、まー君、健ちゃんは空豆のうねの間。空豆を踏まない、取らないの約束を守って上手に草を取っていく。草の伸びるこの季節、草を取っては皆が伸びる。また草が伸びる。そしてまた皆が伸びる、伸びる。

平川

2 班 - 暑さに負けず

春の柔らかい日差しが懐かしく思える季節となりました。日中の暑さには思わず着ている物を脱ぎたくになります。

このような中、私達2班のメンバーも毎日洗濯物の仕分けと、果物を包むネット折りに汗を流しています。そのメンバーの表情は様々で、民さんやさゆりちゃんのように作業開始30分も前に作業棟に入り作業を始める人もいれば、山布子ちゃんや泰彰君、正樹君のように楽しそうに、又、鼻歌混じりに作業する人、まーちゃんやよっちゃん、幸恵ちゃんのようにマイペースでコツコツと作業する人、いつもニコニコ顔のたっちゃんやアッコさんや博君。文ちゃんや淳ちゃん、そして聡ちゃんのようにいつも陽気で元気な人。作業の合間の忠ちゃんと宣陽さんの会話には皆にも笑みが零れます。

このような個性溢れるメンバー全員で、夏の暑さも吹き飛ばせー！！

山口

3 班 - 月・火・水・木・金

初夏の風に吹かれて

最近の天気といえば、もの見事に週末“雨”が続いていますね。たまの週末“雨”なら、ゆったりとくつろいで日ごろの疲れを癒すところですが、こうも毎週末が雨なら又か…とがっかりしてしまいます。

反面、一週間が始まる月曜日となると晴れ間が広がり、しっかり月・火・水・木・金と初夏の太陽がサンサンと輝いてくれます。私達木工班の作業棟にも、その熱気が感じられる季節が訪れ始まりました。幸い、風通しの良い所で、窓全開にして初夏の風をうけながら、7月に開催される全国自閉症児者親の会熊本大会に向けて、木工品を作業分担して製作中です。一方、木工室も台風の時期前には完成させる為、木工班男性職員中心に日々トンテンカンテンと仕上げています。

木工班には、太陽光線は直接の影響は少ないのですが、ジッと座って取り組むだけに、風には敏感になります。

今年の夏も、木工班にいい風が吹きますように…。

松下

4班・Kぞう君の窓

5月の農耕班レクは、23日(水)にテレビ局(KKT)見学に出掛けました。到着するとすぐ中を案内してもらいました。調整室やスタジオなど、いろいろなところを見学し、その中でもスタジオでは皆さんの中にもご存じの方も多と思いますが、『マルニシのなんさま安かテレビショッピング』のリハーサルが行われており、見知った人を生で見れたということにある種の感動を覚えました。帰る際には、タオルと新番組の冊子を頂きました。(本当に有り難うございました。)

今回のレクで一番変わっていることと言えば、昼食の件でいつもは厨房さんに作って貰ったり、弁当を買ったりしているのですが、この日はファーストフード(モスバーガー)のお店でハンバーガー2個とフランクフルト、アップルパイ、そしてドリンクを買って食べたことです。何しろ初めての試みだったのでみんなが納得してくれるかどうか心配でしたが、いざ食べ始めるとみんなおいしそうにモグモグ。きれいに平らげてくれました。(それでも何人かは、物足り無さそうな顔をしていましたが…。)たまにはこういったことを取り入れていくことも、楽しいレクを過ごす一つの方法だと思います。

高田

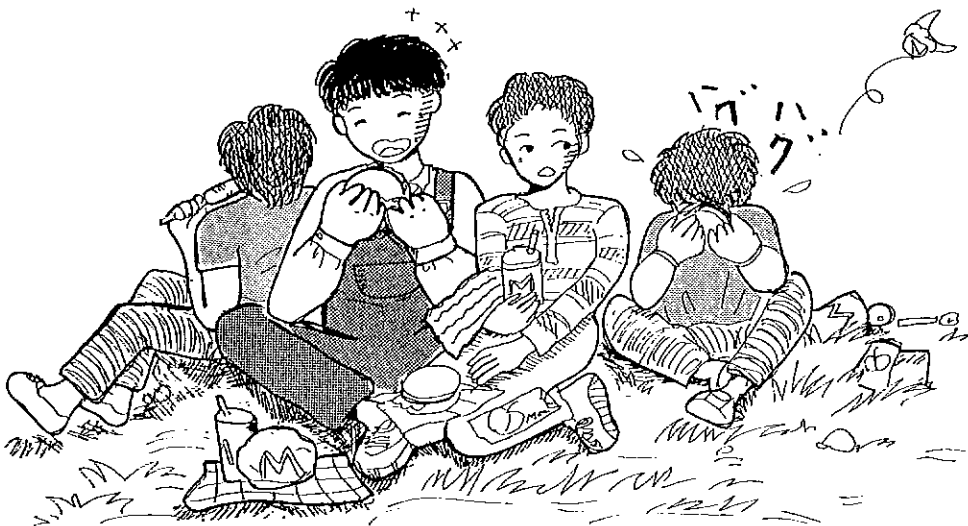
5班・「夏が来る」

「暑い、暑い」今までは長袖の上に作業服を着ていてちょうどよかったのだが、今では薄いシャツ一枚でも汗が次から次へと流れ出ます。ビニールハウスの中なんて天然サウナ状態です。この天気では雑草や花苗、木の苗が次から次へと伸びて草取りや移植、定植など作業に押される毎日。

麦わら帽子をかぶり汗で顔は泥まみれ。ヘトヘトになりながらフッと時計を見ると「アッ、おやつの時間だ」「それじゃ休憩します」と言うと、今までとても疲れた顔をしていた典君、敬ちゃん、博君。パッと立ち上がりダッシュでかけ込み、手を洗い日陰でおやつを待っています。この顔色の変わり様は百面相なみでは?とても楽しいメンバーがいっぱいの園芸班が今回、開園祭で心ながらのお土産を準備させて頂きました。(ハゴロモルゴウ草・マリーゴールドの花苗を一株ずつ)

とてもきれいな花が咲きますのでご家庭で育てて下さい。

行栴



療育シリーズ

ハクシヨンパニック

園長 土井 尚典

ゴールデンウィークのある朝、三気の里に保護者から電話が入った。園生が自宅で激しいパニックを起こしているというものであった。職員が直ぐに迎えに行った。しばらくして、また電話があり少し落ち着いたというものであったが、三気の里とにかく連れて帰ることにした。

ゴールデンウィークで掃宅して2日間は大変穏やかに過ごした。3日目の朝も穏やかで、朝食がはじまった時、お父さんが大きなクシャミを3回続けてしたとたん、突然パニックになりお父さんの服をビリビリに破り、止めに入ったお母さんにも飛び掛かり服をビリビリに破って手をつけられない状態になったそうである。お父さんは病気で退院直後であり、お母さんも持病をもっていて、体力的に太刀打ちできない状態であった。ご家族としては、今後とも掃宅をさせたいがパニックが心配であるとのことであった。

なぜ、パニックが起こるのかに

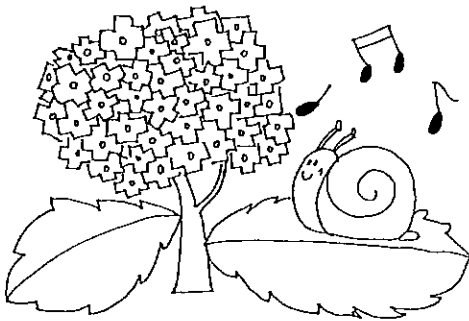
ついて、担当と意見を交換した。本人の能力は判定B1で会話もでき仕事も福祉工場に勤めていた頃は責任を持たされていた程である。

しかし、基本的な事が身につけていない事が最大の欠点である。事件以来そのことを集約的に指導中である。基本的な事というのは、「指示に従う」「ちょっと我慢する(指示にしたがって頑張る)」「事ができなくて、すべてにわたって自分中心の傾向がある事である。担当としては、指示にしたがって嫌なことでも能力的にできる課題は、がんばってみることを課題としてやっているということである。始めは逃げ出しやパニックが多かったけど、最近はめっきり減ったので、掃宅しても大丈夫ではないかという意見であった。しかし、体力のない保護者の感じるパニックの恐ろしさは大変なものである。保護者の望ましい在り方等考える以前の課題である。当の保護者は連れて帰りたい様子であり、連れて帰る不安との葛藤中である。掃宅中だけ薬物を利用する方法などもあるが、保護者の心の解決が先である。

担当が、本人に家族宛の手紙を

書かせたときに、「迎えに来てくださいと書いたらどうね」と問いかけたそうである。本人はしばらく悩んでいるように見えて、そして、「帰っても、帰らなくてもいいです」と答えたそうである。すごい答えである。何を悩んだのか、何を考えたのか分からないが、いろいろ推測される。

こう言ったケースは施設内で、まずは落ち着いた暮らしができるよう指導することが先である。また、能力の高い園生ほど時間がかかるように思う。



我が家のゴールデンウィーク

才畑 敏晴

5月4日、一家4人で菊池温泉に行った。ドライブ、温泉、外食などが大好きな子供は、リュックにお菓子などをつめ、水筒もさげて車に乗り込んだ。途中、旭志村の食彩館で焼き肉をパクパク、次は大きな温泉に長々と入り、天気とは関係なくニコニコ顔の1日であった。

カラッと晴れた5日は、カントリーパークに行った。広場で弁当を食べた後、トイレから帰るのが遅いので見つけに行つたためお互いにはぐれてしまった。大勢の人手で心配したが、元の場所に行つて待っていたら心配そうな顔で足早に帰ってきた。どうやら遠いところにある駐車場まで見に行つて、私たちが車に居なかつたので元の場所に帰って来たのだろう。状況判断もきちんと出来て、行動に移しているのかなーと思つた。子供は喜び、親はくたびれる連休であったが、親が元気なうちにはもつとどこへでも出掛け、いろんな体験と思い出を作っておきたいと考えさせられる連休であった。



登山

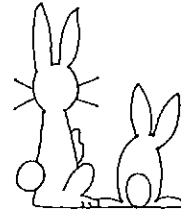
石井 康就

去る、5月19日三気の里職員・園生全員で登山にでかけました。昨年までは、大分県の久住山に登山に行っていました。今回は大津町の陽の原キャンプ場から鞍岳に登りました。A、Eの5つのグループに分かれてそれぞれの目標地点を目指しました。

当日は、朝から太陽が照っていて暑い一日になりそうな感じでしたが、山に行くとも木陰も多く心地よい風が吹いていて、きれいな景色を見ながら気持ちよく登ることができました。途中には、小川が流れていてそこで休憩をとりました。水を飲むこともでき、皆手を洗ったり顔を洗ったりして疲れをとっていました。この小川を過ぎると急な上りがあるので、ここでは職員も自分のことで精一杯という感じで、時折り掛ける励まし声も息が上がって、かえって皆のほうが元気で走って登る園生もいました。そのきつい上りを過ぎて、ちょうどお昼時に頂上につきましました。頂上は大変風が強く吹いていましたが、とても景色がきれいで少しだけ疲れを癒してく

れました。

また秋にも登山があります。その時はみんなでもまた頑張りますよ。うね。



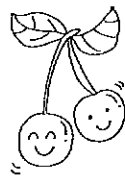
輝き大会

田之上 健一

第2回輝き大会、菊池・阿蘇ブロック大会が21日に行われました。あいにくの雨天の為、会場が菊陽町グラウンドより、菊陽町体育館へ変更となり、縮小開催で非常に残念な事でした。我が三気の里では全員参加を目標に用意していたのですが、体育館という狭い中での競技で、スポーツクラブのメンバー30名が、三気の里代表で参加しました。そのメンバー30名は競技での頑張りも目をひきましたが、大会の開始から終了までの間、興奮しパニックをおこすこともなく、指示にもよく従い、楽しく競技に参加出来たことは一番良い事だったなあと感じています。それからひそかに自信を持っていた大玉転がしは、トップでゴールイン、パ

ン食い競争の方も又一段と目を輝かしながら全員参加、忘れてならないのは、Vさん、職員混合の大縄とびで、10人一組で息の合った所を見せ、50回をクリアー。「本当はもっとたくさん跳べたのに」と、つり気味の足をかかえ言っていました。今回協力して下さった大会関係者、Vさん、保護者の皆様お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

三気の里で働き始めて1カ月半になる私にとって強い味方なのが、由美ちゃんと泰成くんです。由美ちゃんは朝食の準備、泰成くんは夕食の片付けの手伝いをしてくれているので、二人は必ず毎日来てくれるので、ついついこちらも二人のことをあてにしています。私よりもテキパキした手つきで仕事をしている姿を見ると、私ももっとかりしくなくてはいという気持ちになります。これからもお手伝いよろしく願います。



食卓当番当番中

村上

「スカイ」社長那須様より散髪用のイスを頂きました。有り難うございました。

栄養の話

「ニンニクの食べ過ぎは体を悪くする」

ニンニクには、疲労回復、血圧を下げる、冷え性の改善などの有効な成分が含まれています。だからと言って、毎日ニンニクを食べ過ぎると、貧血や胃炎、胃げいれんを起こしやすくなります。薬効のある食品だからこそ食べ過ぎは効きすぎになり、副作用も起こす訳です。胃に負担がかからぬよう、食事中又は食前後にとり、1日に1かけ、加熱したものは3かけ位を目安にします。胃の弱い人は牛乳1杯飲んで、胃の粘膜に防護壁を作ってからニンニクを食べるようにならしましょう。

村上



お礼

「スカイ」社長那須様より散髪用のイスを頂きました。有り難うございました。

6月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
友和くん、林田くん、茶飲くん、誕生日おめでとう!				1	2	3	
10日(土) 保護者会							
23日(土) 保育会							
4	5	6	7	8	9	10	
						保護者会	
					友和くんの誕生日(19)	林田くんの誕生日(21)	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	21	22	23	
						保育会	
						茶飲くんの誕生日(19)	
24	25	26	27	28	29	30	
					たんぼはな発表会		



ボランティア通信

一足早く店先で紫陽花の花が目にとまるようになり、いよいよ梅雨入りまじかです。今年の梅雨は多雨だとか：昨年深刻な水不足で頭を悩ませた方も多く鬱陶しい雨も今年はあるがたいと喜ばれる事でしょう。みなさんはどのように雨の日を過ごされますか？三気の里では行事、作業の他、毎週金曜日の午後に音楽（ハンドベル、リトミック：）、スポーツ（アスレチック、球技：）、動作法訓練を行っています。雨天に関わらずやっていますので、一度のぞいてみて下さい。

ボランティアありがとうございます

☆ブラッシング指導 森隆子

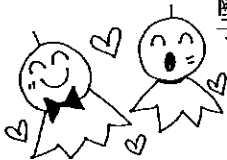
☆生け花 西村栄子

☆散髪 坂本シマ子

☆輝き大会 大塚弥生・緒方智

須藤しのぶ・井手亜希子

緒方智子・森 隆子



新入園生紹介

一裕君
今度、はるばる山形県から来た一裕君です。おしゃべりや歌が大好きで、農耕班にもぎやかに楽しみました。皆さんどうぞよろしくお願ひします。



お知らせ

日本自閉症協会第14回全国大会（熊本大会）が7月22日（土）～23日（日）に開催されます。御支援・御協力をお願いします。

詳しくは、ボランティア担当の満原・佐藤・石丸までご連絡ください。



編集後記

4月から、たんぼはな編集のメンバーも新しくなりました。まだ不慣れな点が多く、その為先月は発送が遅れ、大変ご迷惑をお掛けしました。今後そのようなことがないように十分気を付けます。石井